

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)尼崎市昭 and 南通り計画 新築	階数	地上13F
建設地	兵庫県尼崎市昭 and 南通り7丁目180番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	98 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2022年3月18日
敷地面積	501 m <sup>2</sup>	作成者	野嶋 一広
建築面積	259 m <sup>2</sup>	確認日	2022年3月18日
延床面積	2,687 m <sup>2</sup>	確認者	西村 昌高



ださい

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 97%  
③上記+②以外の 97%  
④上記+ 97%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.8  
Q2 サービス性能: 3.1  
Q3 室外環境(敷地内): 2.7  
LR1 エネルギー: 3.2  
LR2 資源・マテリアル: 3.2  
LR3 敷地外環境: 3.0

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.8)

音環境	2.6
熱環境	2.2
光・視環境	3.0
空気質環境	3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

機能性	3.6
耐用性	3.0
対応性	2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

#### LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.2)

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.6
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

地球温暖化	3.1
地域環境	2.8
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>建物前面に空地を設け、可能な限り緑化をする事で良好な市街地形成を目指している。 外壁は落ち着いた色調とし、周囲の環境に配慮する。 建物利用者の快適な生活環境を維持する為、F☆☆☆☆の内装材を使用し、また、節水型器具の使用など資源の有効利用を心がけている。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>特になし。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>全体的にF☆☆☆☆建材を使用し、24時間換気とする事で、ホルムアルデヒドの発散を抑えた室内環境としている。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>情報社会に対応し、ゆとりある生活を確保できるようGbit(ギガビット)クラスのブロードバンド対応とし、機能性に努めた。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>建物前面に空間を設け、できる限り敷地内の緑化に努め、周辺地域への良好な住環境の形成に配慮した計画を目指している。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>住宅部に複層ガラス、共用部にLED照明器具を採用等、設備システムの効率化に配慮している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>グリーン購入法物品を採用し、また、節水型の水栓を採用することで資源の有効利用に努めている。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率が一般的な建物と同等 換算スコア=3.1</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される